

## トマト畑 から



## 第2号

## 実りの秋となりました

お米の収穫はどうでしたか。米価が下がりましたね。これ以上下がったら大変なことになります。

さて、9月議会が終わりました。久万高原民報「トマト畑から」第2号をお届けできることをうれしく思います。この間第1号を手渡したおりポストに入れさせていただきました。そのときの様子をお知らせします。

## 久万高原にこんなところが～坂道の集落

急斜面に肩寄せ合う黒藤川の70戸程の集落が目の前に広がる。面河にもこのような集落がありました。高齢の方にはこの斜面はきついのでは？と思いますが、しかしここで昔から営みを続けてこられたのです。



私が農作業をしている槇之川は久万高原町の中では標高の高い集落だと思っていましたが、上には上があるもの。畑野川の山奥の集落は槇之川を越える標高720mほど。雪が深く、皆、冬場は町内や松山で過ごすそうです。しかし、どこも先祖から受け継いだ田畑をきれいに守っていました。

## 災害に繋がる危険箇所が多い!!

(Aさん) 裏山は急斜面で高い。家のすぐ横を流れる谷川に土管(暗渠)を埋めて道路を渡しているが、その土管が小さいうえに、流されてきた土砂で埋まり大雨のたびに道路にあふれ、今までに何度も水が駐車場まで押し寄せてきた。「不安でならない。役場は町中ばかり見て山奥のことは見てくれない。」

(Bさん) 小川に砂が溜まってしまっって葦も生え、川幅も狭くなっている。田に水が入りそうで心配だ。このように話を聞いてもらえてうれしい。少しほっとした。

## こんな話も聞いたよ

(Cさん) 選挙の前には「お願いします。」「お願いします。」とやってくるが、当選したら知らん顔。当選後も足を運んでくれるのは本当にうれしい。

(Dさん) 梶原町を参考にすべき。自然エネルギーや隈研吾さん設計の建物を取り入れている。先見性をもって積極的な町政を進めてほしい。そのためにも町議としてがんばってほしい。

(Eさん) 他県から久万高原町に移住して20年以上になるが、地域に受け入れられるには時間がかかる。つながりを大切にしてきた。大野さんには一つのことでもいいからじっくり取り組んでほしい。

(Fさん) 移住してきたが、古株となり、地域の行事を担う立場となった。コロナ禍ではあるが感染対策を取りながら夏の行事をおこなった。若い移住者も一緒に地域を盛り上げることができた。

(Gさん) 年2回ぐらいは議会報告や活動報告、住民の声を聞く会をもってほしい。

## 後援会員の教え子の親御さん宅2軒を訪ねた

ある山奥の集落でそれぞれ一人暮らし。狩猟、自給自足に近い生活をされています。(Hさん)「地域のお世話をよくすると聞いていたので当選すると思っていた。」(Iさん)「共産党から出ると当選できないと思っていたが、うれしい。よく大阪から帰ってきてくれた。」と地区の違う私の事をよく知っていてくださりびっくりしました。全町一区、町議は久万全体に責任を持たねばと気持ちを新たにしました。

## 「トマト畑から」第1号を読んで

民報「トマト畑から」第1号を読みました。「子育て支援」についても「コロナ対策」についてもよしさんの言うとおりの常任委員会での発言もそのとおり！日本の農業を守ってほしい。小規模農家を支援してほしい。本当にいろいろ苦労があると思いますが、健康に気をつけて頑張ってください。

# 9月、2回目の一般質問

## モヤモヤの残る一般質問



今回は次の3点について質問しました。

### 1 盛り土等による土砂災害を防ぐために

① 熱海市の土砂災害後、久万高原町でも6ヶ所の盛り土の調査が行われたと聞きますが、改善点は？

(町長) 町が管理する残土処理場(菅生・猪伏)、土砂仮置場(菅行・横野・二箇・露峰)を調査しましたが、災害につながる箇所はない。

② 6ヶ所以外での掘削や盛り土(産廃処分場予定地を含む)に関して調査する予定があるのかなのか？

(町長) 違法な事例や危険箇所を確認したら県に連絡し、連携して改善する。

### 2 環境保全条例の取り組みをみんなのものに

① 環境保全条例策定委員会の議論の様子を住民に知らせ、関心を高めることについての見解は？

(町長) 機会を捉えて広報などで住民に知らせたい。

② 産廃処分場反対という策定委員の熱い思いが住民に伝わるよう、わかりやすく知らせしてほしい。

(町長) 環境保全条例と処分場は別の課題だ。環境保全条例は安心して健康に暮らしていく基本的なもの。処分場については上位法があるのでこの中にうたうものではない。処分場に特化して作る条例ではない。

### 3 コロナ感染から住民を守るための検査について

① やむを得ず外部の人と接触がある「道の駅」等の観光施設で希望者に定期的な唾液PCR検査や抗原検査は行えないか？

(町長) まず感染防止を徹底し、感染者が発生した時や、発生のおそれがある時には保健所や事業所と連携して適切に検査をする。

② 子どもたちの学校生活を守るため唾液PCR検査を導入できないか？

(町長) 国より全国の幼稚園、小学校に抗原検査キット30回分が無償配布される予定だ。発熱等症状が出て、すぐに帰宅できないときなどに補完的な対応として活用する。

③ 高齢者施設の入所者、職員、出入り業者へのPCR検査についての見解は？

(町長) 入所者、職員には補助事業を設け実施している。国からの抗原検査キットも配布している。出入り業者は施設外で感染防止対策を徹底。施設に入る時には健康チェック表などで対策をおこなっている。県の保健所、町立病院、民間病院とも連携し基本的な対応はしっかりできている。

## 合同委員会での私の質疑



(「久万高原町過疎地域持続的発展計画」について)

・年金で入れる入所型の高齢者施設が必要だ。70人待ちで待っている間に亡くなった方がおられる。増やすべきだと思うが。

(総務課長) 要望は聞いておくが高齢者人口が減少している。作らない方向だ。

・面河地区で地域運営協議会による空白地輸送の実証実験をしていたが結果はどうか。

(副町長) 実証実験の結果、柳谷の西谷地区でも地域運営協議会を作りおこなうことになった。

・コロナワクチンの間違った情報があふれている。正しい報道をしてほしいとの住民の声がある。

(総務課長) 広報にチラシを入れる。

## 産業経済常任委員会での私の質疑



・久万清流米は高い評価を受けている。それでもこれ以上米価が下がると生産費に届かず赤字になる。離農者が増え、放棄田も増える。米価を上げしてほしいがどうか。

(町長) 農協にお願いしているが、今年度は期待通りにいかない。米価は下がる。

・林業発展のため、自伐林家の育成が欠かせない。自伐林家にとって間伐補助金は必要不可欠だ。きちっと出されているか。

(林業課長) きちっと出されている。

切捨間伐 1ha 63,000円

切捨間伐(巻き枯らし) 1ha 65,000円

搬出間伐 1ha 248,000円



## 9月議会を終えて



後になって気づくのですが、町長の答弁の中で確認し直せばよかったと後悔する点がありました。留意した再質問にとらわれ、必要な確認ができていませんでした。答弁を冷静に聞き、明らかになった点に注目して論を展開する力を身につけていきたいと思えます。住民の声をできるだけ多く議会に届けたいと思えます。